

【本年度の重点目標】

キャリア教育を学校教育の基盤に位置付け、「夢や希望」「継続と挑戦」「学力・体力の向上」を取組の柱として、学校の教育目標「夢や希望をもち、心豊かにともに伸びゆく新田の子どもの育成」に迫る。小学部と中学部の総力を傾注して、地域に根ざした小中一貫校を創造する。

夢や希望 学ぶ目的や成長に必要な学びを自覚し、自分の生き方を考える教育活動

Table with 4 columns: 評価指標, 具体的数値目標, 方策・手立て, 評価 (指標別, 総合). Rows include 自己理解、他者理解の機会の推進, 地域の良さの実感と学校での学びを社会とつなぐ機会の充実, 進路や生き方、将来に対する夢や希望について考える機会の設定.

【結果の考察・分析及び改善策】

- ふるさと学習・進路や生き方の回答がよい傾向の裏には、よい人材を活用できたことが考えられる。
○友だちのよさに気付くことは自分のよさに気付くことにも繋がる。教師の肯定的な言葉かけや、どの児童生徒にも「褒めること」を今後とも続けてほしい。
○教師のアンケートでキャリア教育（4）の評価が低かったが、現代の就職環境・就業意識は私たち親世代の頃と随分様変わりしている。
○自己肯定感や友だちのよさを認め合う人間関係の自己評価が高く、安心して居心地のよい学校・学級づくりをさせていただいている。
○中学生になると総合学習でのふるさと学習に対する意識の高さが伺えた。また、キャリア学習の機会を設け、キャリアパスポートの活用することで小中一貫したキャリア教育に役立つ。
○保護者は自分の子どもの内面評価が厳しくなる傾向があるかもしれないが、先生方の日々の努力で自分自身や相手のよさを見つめることができるのは大変素晴らしい。
●授業の中で旬な経済（お金）の学習を取り入れてほしい。
●将来のことは学校だけでなく、広く十分に家庭において話し合う機会をもってもらいたい。
●友だちのよさに気付いている子が自分のよさにも気付いてほしい。互いに認め合うことで自分のよさにも気付くようになるのではないかと感じる。
●生涯学習課が実施する体験活動への参加が少ないと感じる。送迎の問題もあると思うが、積極的に参加してほしい。
●朝の登校指導をしているが、挨拶がいまいち。こちらからすれば返すが、率先して挨拶する生徒は少なく感じる。

継続と挑戦 挑戦できる環境を整え、挑戦する過程で成長を実感し、さらに高みをめざす教育活動

Table with 4 columns: 評価指標, 具体的数値目標, 方策・手立て, 評価 (指標別, 総合). Rows include 規範意識の醸成と凡事徹底, 成長の実感と学校に対する誇りの育成, いじめ防止と不登校への組織的対応, 時間管理と健康管理ができる職員の育成.

【結果の考察・分析及び改善策】

- 外部専門家との連携・連携が上手く行えていると感じる。
○いじめは絶対にしない、させないという指導がなされているのがアンケート結果からわかった。これが新田学園の子どもの仲のよさに繋がっていると思う。
○そのためにも、先生方の心の余裕が必要。児童生徒と雑談とかができる時間が取れるとよい。
○先生たちは相談や悩みを聞いてくれないと感じる生徒がいるとのことだが、子どもの権利条約【4つの基本原則】にある『子どもの意見尊重』を守ろうとする園が『子どもアドボケート』の取組を広めているようなので学校でも取り入れてはどうだろうか。
○先生方の働き方改革が進んでおり、よかった。
○学校行事等、いろいろな学習活動の場面で子どもたちは挑戦し、成長を実感している。
○いじめ防止の子どもたちや保護者の意識が高く、生徒会活動や日常の生徒指導のおかげであるとを感じる。小学校低学年の意識向上がもう少しと感じる。
○不登校生への支援をよくしていただいている。
○働き方改革を推進するため、部活動の地域移行に協力します。
●リフレッシュデーの水曜日実施は、定時退行に結び付きよかった。ただ、小学校の先生方は多忙感の改善へもう少しのようだが、交通安全週間等で登校の見守りを行う時に挨拶に少し物足りなさを感じる。
●整理整頓については児童生徒と保護者として意識の差が見られる。学校ではできていても家庭ではできていないのでは。特にプリント類の整理ができていない。
●いじめに対する意識は高いと感じた。面と向かってだけでなく、SNS上でも意識を持ってほしい。
●先生方への相談に子どもたちは高く評価している。保護者からの相談の受けが検討の余地がある。
●時間管理と健康管理の育成の部分で、小学部・中学部の「あまりそう思わない」と回答している小学部の深掘りが必要である。
●『いじめアンケート』結果の「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した生徒が、なぜそう思ったのかを深掘りする必要がある。
●挨拶ができる子とそうでない子がいる。その違いはどこから出てくるのか。挨拶に対する「意識のちがひ」だと感じる。大人が手本を示し、「褒めてやる」ことであると思う。集会の場等で取り上げて欲しい。
●規範意識は人それぞれであると思う。特に発達障害（自閉傾向）の傾向のある方には「こだわり」という特性があり、定型発達の方とは違う感じ方、見え方、考え方等々のため、この「こだわり」は他者と共有されにくく、規範意識の低い人と思われる。他者の目があっても注意を受けても（本人は損得勘定なし）そう振るわざるを得ない状況を理解し、丁寧な支援をお願いしたい。
●基本的な生活習慣（挨拶・整理整頓等）は、保護者の家庭での評価が低いと思うので、家庭との連携が必要。
●「返事」は各自心がけさえすればできること。世知辛い世の中になっているからではと思うが、人との関わりを大切に思い、明るい未来を築いてほしい。
●チャレンジへの働きかけは十分にできているのに意識がもう少しなのは残念。与えられた中で自分で考えたい方向性に向かっていると感じる。家庭での役割を小さい時から担っていくと知らず知らずのうちで育っていくと思う。
●子どもたちも先生方も皆、学校へ行くことが「楽しい」と思える日常をお願いしたい。
●元気に登校する姿は学校が楽しい証拠だと思う。いじめの報告もなく、よい学校だと思う。

学力・体力の向上 職員の授業力と生徒指導力向上による確かな学力・体力の向上をめざす教育活動

Table with 4 columns: 評価指標, 具体的数値目標, 方策・手立て, 評価 (指標別, 総合). Rows include 確かな学力の向上, 読書環境の充実と読書の推進, 家庭学習の充実, 体力の向上, 生活リズムの向上, 効率的な部活動の運営.

【結果の考察・分析及び改善策】

- 生徒との授業が分かりやすいとの回答が多いことからICT教育がしっかり行われていると感じた。
○子どもの主体的な取組が真の学力向上に繋がる。先生方も大変だろうが、理解度のチェック、個別指導、授業改善等、全職員で頑張りしてほしい。
○「ひなたの学び」の研究・実践を全職員一丸で取り組まれていて子どもたちの授業の分かりやすさは高評価で、学力向上に結びついている。
○小学生は8割近く読書の習慣があり、継続して読書に親しむ働きかけをお願いしたい。
○9割以上の子どもたちは読書はできていると考えているが、保護者・先生方は家庭学習の習慣・質の向上に努めたいと思っている。
○家庭での健康生活の習慣がつかないと感じる保護者の意識があるようだが、子どもたちは健康で体力向上に努めている。
○部活動の方針に沿って運営できており、子どもたちは休日を有意義に使っている。
○授業は「よくわかる」との回答から先生方の日々の努力が実っていると感じた。
○時代の流れが顕著に表れている読書習慣の欠如、何とかしたい。
○何事にも自ら行動できる力が必要になっていくと改めて感じる。今後大人が未来を背負っていく子どもたちのために少しでも力になることがあれば力添えしていきたい。
○部活動への休養日は上手に休んでいると思う。
●参観日等で先生方が学力アップに取り組んでいることを感じる。授業改善・工夫していることは素晴らしい。これからがんばって欲しい。
●読書は学年にあった本を選ぶことが大事。読解力や文章を書く力の向上に繋がる。
●部活動への参加が少なくなっていると感じている。クラブチームに参加している子もいると思うが、体育以外に運動する習慣がない子も多いのではないかと感じる。
●メディア使用についてはよく指導していただき、子どもたちも自覚している。家庭での実践が今一歩だと感じる。
●メディア使用については児童生徒の中で、これもメディアに該当するという認識が低いと感じる。TVでもYOUTUBEが観られるため、そういった時間もメディアに含めるべきである。
●生活リズムの向上では、生徒と保護者に差が見られるが、同じ状況から改善できた地域を探し、モデルにするとうい。
●親にも情報の共有をしたらよい。
●先日の参観日、発表時の声の小ささが気になった。自分の考えを伝えるのならば、どうしたら伝わるのか、伝える方法を考えさせることが大切だと感じる。
●家庭学習の取組は保護者の理解と協力が必要なので、学校からの働きかけだけでは家庭学習の定着は難しいと感じる。
●宿題が子どもたちにとって「提出すればいい」だけの義務的なものにならないよう（宿題に解答がついているものが多く、写している子もいる）個別に質や量を調整し、達成感をもたせながら「学ぶことは楽しい」と思えるように配慮する必要がある。